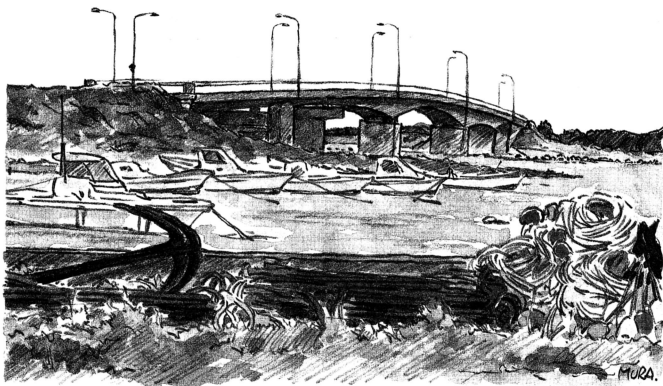




# しらす

平成8年 1月号



謹んで新春の  
御祝詞を申し上げます

平成八年元旦

## 市浦村役場

津軽北部広域事務 組合市浦村事務長	内科 医師	市浦診療所	十三保育所 所長	十三・懸元出張所 相内保育所 所長	協議会事務局 所長	安東の里振興会 所長	教育次長	出納室 所長	建設課 所長	経済観光課 所長	住民福祉課 所長	企画財政課 所長	総務課 所長	教 育 長	取 入 役 長	助 役 長	村 役 長	
三 林 磯	大 桑 長	安 松 古	白 鳴 中	成 三 桑	竹 木 山	工 高												
上 嶋	沢 野 利	保 隆 幸	隆 文 松	義 省 邦	博 義 勝	誠 一												
光 宗	ふ 尚 友	隆 幸	隆 文 松	義 省 邦	博 義 勝	誠 一												
治 輝 泰	子 子 悦	勝 徹 治	保 男 正	勝 夫 則	明 光 郎													



## 新しい発想と情熱で

村長  
高松隆三

陽ガ昇り、陽ガ沈ミ、  
川ノ流レモ  
風吹クウミ(湖)モ

昨日ト変リハナイケレド  
除夜ノ鐘ガ

時ノ流レニ命ヲアタエ

新シイ年ノ夜明ケヲ

ツゲテクレマシタ。

讀んで平成八年の新春をお祝いするとともに村民皆様の御多幸をお祈り申し上げます。

昨年是全国的に暗いニュースが多い中で、わが村のコメの収穫は平年作を確保し、トマトについてははこれまで最高の一億二千万円を越え、十三湖のシジミ漁もまた史上空前の五億円に近い水揚げを誇り、低迷していた畜産の牛子牛市場も「昨年と比べ二十五%も高く売れました。一次産業全体としては順調な一年だったと思います。」

また、わが村誕生四十周年を迎えその激動と変革のあゆみを

ふりかえり、新たな決意を誓いあつたことも意義あることだったと思います。

時はいま、地方分権、小遣区制、新食糧法の施行、そして高齢化、国際化、情報化へと大きく転換しつつありますが、こうした時代認識をもちながら新しい発想、新しい価値感のもとに、ほ場整備を中心とした地域農業の確立を目指すとともに、健康志向、高齢化社会に対応した海水治療温泉の建設や相内保育所の建設についてもメドをつけたと考えております。

また、相内橋の架替えや相内太田鏡線の坂道改良工事のほか、磯松海岸の護岸工事についても着手するとともに、十三、脇元両漁港の本年度完成にも最善を尽す考えであります。

更に、本年四月からは在宅介護支援センターや特産品販売交流センターもオープンする予定であり、現在検討中の海水治療

温泉とともに地域振興の起爆剤になるものど期待しております。常に何かを变えようとするこの発想と情熱で地域おこしに全力投球する考えであります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



に新食糧法が昨年十一月から施

は一億二千万円を超える実績をあげ、肉用牛についてもこれまで低迷を続けていた子牛の市場価格が向上し、また、十三湖のシジミ漁も五億円に近い水揚高を記録するなど一次産業総体的には明るい喜ばしい年であったと思います。

国内では阪神大震災や地下鉄サリン事件など、大変暗い出来事が多かった一年であったと思います。本村におきましては、春先の低温で心配された水稲も平年作を確認し、特産品であるトマトも順調に生産を伸ばし、販売額は一億二千万円を超える実績をあげ、肉用牛についてもこれまで低迷を続けていた子牛の市場価格が向上し、また、十三湖のシジミ漁も五億円に近い水揚高を記録するなど一次産業総体的には明るい喜ばしい年であったと思います。



議長  
浜田 春 士

# 最大限の努力を

行され、これまでの政府全量管理から部分管理となり、米の生産・流通は農家の自主性が尊重されることになりましたが、銘柄米を持たない本村としてはその対策が大きな課題であります。平成八年は、その対策の一環として実取地区のほ場整備事業がスタートします。このほか、こうした一次産業の振興、他産業と連動した観光産業の振興、高齢化社会の進行に対応できる在宅介護サービス及び地域福祉の充実など、これらの実現に對し議会としても最大限に努力していく所存であります。

また、昨年五月には地方分権推進法が制定され、これからの行政は住民に身近な地方公共団体が主体となつて取り組み、その役割は非常に重要となつてまいります。そのためには簡素で効果的な行政の確立、いわば行政改革を積極的に推進させていかなければなりません。

議会としても、議員定数が十四名から十二名となり、その責任を一層自覚し、村内に住んでいる人々の幸福を願い、村民の負担に応えていく所存であります。どうか、これからの二十一世紀に向けた新しいむらづくりのために村民相互のご理解とご協力をお願い申し上げます。本年もお元気に過ごされますことをお祈りいたしまして新年のごあいさつとします。



# 私たちの抱負



## 改新の ムづぶくりに期待

「市浦つて北の方!」私が勤めている会社(南部藤崎町)の人は、こんなキツイパンチを放ってきた。南部の人達は、こちらの存在を知らないのは覚悟していたが、それにしてはあまりにひどいと痛感したのは今までで初めてである。確かに同じ村でもジャスコが建つ村、地吹雪を名物に化けさせた町などは知名度はうなぎ登りである。市浦村にも何か「コレだ!」というものが欲しいと思う。十三のシジミを上回るものが必要だと思う。

## 実りある

### 一年にしたい

今年はずみ年。私の年です。今年も六年生になります。それまでと少し。六年生は小学校の最高学年です。先頭に立つて、下の学年を引っ張っていかなければなりません。だから、六年生のいる数ヶ月の間に、いろいろなことを学ばなければなりません。不安になることもあるけれど、がんばりたいと思っています。それから、勉強もがんばりたいと思っています。私は勉強が

考えを一八〇度回転させた新しいものを望んでいる。高齢化社会への移り変わりの中、次世代人の村に対する要望はさまざまあると思うが、市浦で何かをしたいと思うのは同じだと確信している。いつかやってくる自分達の時代のため、一日一日を過ごしたいと思う。今年こそは改新の音が聞こえるような村になるように切に望んでいる。



中山 順哉  
(小)

苦手で、なかでも国語と図工が特にだめだと思うのでがんばるつもりです。六年生になると勉強もむずかしくなるので、今からがんばるつもりです。この二を大きな柱にして、小学校生活最後の一年を、精一杯がんばり、実り多いものにするつもりです。



梶 浦 裕 季  
(十三小5年)

## 村民みんなと交流を

村内の皆さま明けておめでとございます。今年で三回目の年男(ネズミ男と言われている)となり、今年も十三の相坂広(アイサカヒロシ)、独身、困ったものです。です。現在、母との二人暮らしで木造町で働いています。

これまで、学生時代の八年二年オマケ)と南部で働いていた四年間の計十二年を除く二十三年間は村内に居りました。しかしながら、朝七時半発、夜の八時頃の帰宅、休日は家でゴロゴロ

口しているものですから、村にどんな方が住んでいるのか近所の方を除いてほとんど知りません。これではいけないと思いますので、今年はいち切つて全村三千名の皆さまのうち、少なくとも十分の一の方と面識を持てるよう活動することを宣言いたします。皆さま良いお年をお迎えください。



相坂 広  
(十 三)

## 三つの目標を

### 実現したい

ばくは、四月から六年生になります。やりたいたことがたくさんありますが、特に次の三つをやりたいたです。

- 一つは、卓球部の部長になりたいです。そして、いろいろな卓球大会でいい成績を残したいです。
- 二つ目は、ボクサー、作文、詩、短歌、ひょう語、図画などで、たくさん賞をとりたいです。
- 三つ目は、六年生なので、今

年できなかったことや、まもれなかったことを、達成したいです。この三つが実現できるように今年ががんばりたいと思います。



奈良 和 久  
(太田小5年)



# ねずみ 子年にかける

## しらふなつこに

### チャレンジ

今年是小学校最後の年なので、思い出に残る年にしたいと思っています。

去年、六年生が全校のみなをひっぱってくれたので、今年もそれを見習って、進んで何でもやってみていかなければいけません。

私は少しのらいので、それを直して、てきぱきとやっています。

学習面では、本を読むことを毎日続けたいと思います。

また、スポーツ面では、部活

## 最上級生としての意識で

六年生では五年生ではやらないこと、習わないことなどを習うので、六年生になったら五年生以上にならばなくてはいいかなと思っています。五年生では、少年自然の家に宿泊訓練に行きました。リーダー研修会もやりました。六年生では、修学旅行に行きます。少年自然の家で友達をたくさんつくったので、修学旅行でもたくさん友達をつくりたいと思います。

学校生活では、委員会の委員



三浦 松 幸  
(相内小5年)



田 中 葉 弥  
(船元小5年)

長、クラブのクラブ長、そうじの班長などとても大変になります。勉強はとてむずかしくなるので六年生になったら、にがてな事をがんばるようになりたいです。そして班長などになったらみんなをまとめていきたいです。

お父さんにスキー場へつれていってもらい、スキーを楽しみました。それから、なわとびで二重とびができるようになったので、これからは、いろいろな技とびができるようにならばいいです。

## 忙しさの中に

### 余暇を見つけて

年男だつて、何か一言抱負を頼まれとまどった。

心の安らぐ時のない私達にとつて、忙しさの中に安らぎを見つけてみたい。四季を彩ってくれる山歩きが好きだから、今の仕事が忙しい。また、心の落ち着きさを与えてくれる。心と

息、まだ見ぬ人との出合いが始まり、ふれ合いが生まれ、そ

## ほかに負けない

### 農業経営を

私が生声を上げて、子年五回目の年女を迎え、過去先日の様に想われます。

物心がついた幼少の頃終戦で、当時中里の実家で、米づくりと針仕事だけ一筋に約四十年。市浦に嫁に来て約四十年。三人の子とも家庭をまかせられ、今日やつとの事、子ども達が独立しまして、ほっと一息、内孫達と一緒に暮らしております。

最近、テレビや新聞等で毎日

して交流を深めたい。アウトドアの好きな私だから、忙しさの中に一つでも多く余暇を見つけてつ働き、誇れる市浦村でありますよう少しでも努力し、意義あるよう残された人生を歩んでみたい。

どうぞ良き年でありますよう心からお祈り申し上げます。



秋田 谷 清  
(桂 川)

の様に、きびしい農業を見ます。私達小さい時から身に付けた農業をより良く生かし、決してほかに負けない様な農業経営をしたいと思っています。六十歳を迎えた私ですが、今年も米とトマトづくりを一生懸命頑張ります。より良き年になる様願います。



奈 良 田  
(太 田)

# '95 ハイライト

写真でふりかえる一九九五年。今年はいったい、どんなドラマが待ちつつけているのだろうか。



約250人が出席して、市浦村誕生40周年を祝う



十三湊遺跡解明に今年度から県も乗り出しました



「国際化社会に対応できる人づくりを」と英語指導助手を招致



4億5千万円を上回る水揚高を記録した十三湖ジミ漁

**8月**

**7月6日5日**

**4月3月**

**2月**

**1月**

- 市浦村夕焼け野球協会 岡本隆雄会長が青森県スポーツ奨励賞に  
七月には、40インングチャリティ野球大会を開催。ホームラン等の寄金を社協へ寄付。
- 高松隆三村長らが関東地区区種者を激励訪問
- 新農業委員11人が無当票当選  
四月には各団体の推せんにより五人が加わり、新農業委員16人がそろそろ。
- 東日流末塾第一期生が福島大学で修了式を行う
- 県大規模キャンペーン推進協議会(会長・木村守男知事)総会で、平成七年度「ミス北彩紀行」に三上千穂子さん(相内)が選ばれる  
七月の東日流末まつりでは、きらびやかな衣装に身を包み、時代絵巻パレードに参加。
- 任期満了に伴う市浦村長選挙で高松隆三氏が再選、二期目就任。また、市浦村議会議員補欠選挙では、三和均氏が無当票当選
- 一日ドック総合健診に村民七百人が受診
- 特産品加工センターが操業開始
- 「トイサム」が管理運営し、これまで村外の業者に委託していたジミエキスドリンクなどを製造。十月には、五万本を関東地区へ出荷。
- 市浦村助役に工藤誠一郎氏が再任、四期目の就任となる。
- 交通死亡事故ゼロ二年間を記録し、現在更新中
- 外国青年招致事業として、ジェレミー・クインさんが本村の英語指導助手として着任
- 商工会野球部が県商工会野球大会で、役場野球部が県市町村職員野球大会、町村の部で、それぞれ県大会初制覇
- 今年から県も加わり、十三湊遺跡発掘調査が行われる



現在、計画策定中である「市浦型海水治療温泉(タラソテラピー)」の講演会を開催



関東地区の村出身者が集い盛大に開催された「ふるさと市浦会」の結成



ミス北彩紀行の三上さんも参加した東日流安東まつり



市場価値が上向いてきた市浦牛



商工会、役場野球部がそれぞれ黒下ナンパワーンに



毎年50%以上の受診者がある一日ドック

12月

11月

10月

9月

- 県では、六月補正に十三湊の学術調査費用として、九六〇万円を計上。平成十一年度まで村と並行して発掘調査に乗り出し、国史跡の早期指定に向け期待がふくらむ。
- 市浦型海水治療温泉(タラソテラピー)講演会開催
  - 阿岸祐幸北海道大学名誉教授を迎え、村民約六十人が参加。
  - 十三地区漁業集落環境整備事業(下水道事業推進委員会が組織)
  - 新食糧法施行(十一月一日)に対応し、コメ対策協議会を設置
  - 市浦村総合交流促進センター地鎮祭挙行
    - 特産品加工センターとなり、今年四月オープンをメドに事業着手。
  - 十三、臨元岡漁港の拡張工事で外郭が完成
  - コメの収穫が平年作を確保
  - 水産物鮮度保持施設(貯水庫)が市浦村農水産加工センターとなり完成
  - 西北秋季市場で市浦牛(肉用牛)生牛が昨年より二割高で取引
- 関東地区「ふるさと市浦会」を結成
  - 東京都品川プリンスホテルで開かれた設立総会、交流会には、村から四十七名、関東地区周辺から村出身者一六八名が参加し交流を深める。
  - 市浦村誕生40周年記念式典が行われる
  - 桃太郎トマト販売額が過去最高の一億二千万円台へ
  - 十三湖シジミ貝水揚げが史上空前の四億五千万円を突破
  - 実取地区は環境整備事業実施のための同意率が99%へ
  - 市浦村在宅介護支援センター建設事業着手

# イラスト展 今年<sup>わすみ</sup>は子年 かわいいマウス大集合



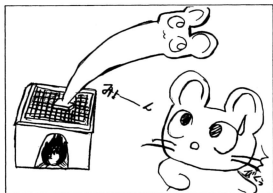
4年 秋田谷舞衣さん



6年 佐藤 小巻さん



5年 秋田谷理恵さん



5年 鳴海わか奈さん



4年 三和 千花さん



5年 三浦 萌美さん

表紙・十三湖大橋風景

画・村上 幹夫

東北電力(株)青森支店勤務  
日本美術家連盟会員、二紀会同人、青森県美術展運営審査委員、宮城県芸術協会会員、青森県文化振興会議委員、八戸市文化協会常任理事会員  
青森市在住

相内小学校イラストクラブの皆さん、  
ご協力ありがとうございました。